

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	港湾機能の高度化を図るための施設整備事業（東日本大震災関連）		担当部局庁	港湾局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H23/H23		担当課室	計画課		松原 裕		
会計区分	一般会計		施策名	19 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなどの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針 (平成23年7月東日本大震災復興対策本部) 社会資本整備重点計画(平成21年3月31日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	港湾施設の機能の高度化を図るために必要となる施設について、地方公共団体(港務局を含む)又は民間事業者が実施する事業に要する経費の一部を国が補助することにより、港湾の国際競争力の強化、物流の効率化、港湾の保安、安全の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(震災) 海外港湾で放射能汚染コンテナが発見された場合に発生している日本への返送、船舶待機、荷物の遅延等の追加負担を抑制するため、国際戦略港湾(東京港、横浜港)において港湾管理者等が実施する放射線量測定施設の整備に要する費用の一部を補助することにより、輸出コンテナの全数検査の実施体制の構築を支援する。 補助対象者:東京都、横浜市、(財)横浜港埠頭公社 補助対象施設:放射線量測定施設<1/2>(<>内は補助率)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	-	-	-	0	-	
		補正予算	-	-	1,020	0		
		繰越し等	-	-	-1,020	1,020		
	計	-	-	0	1,020	-		
	執行額	-	-	0				
執行率(%)	-	-	0					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
	成果実績							
	達成度							
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	事業実施港数		活動実績 港	-	-	2	-	
単位当たりコスト	510(百万円/港)		算出根拠	補正予算/事業実施港数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>・東日本大震災により低下した我が国港湾の安定性を確保することにより、早期の経済活動の回復を図る事業であり、広く国民のニーズがあるとともに、国が実施すべき事業である。</p> <p>・また、放射能汚染からの風評被害への対応は国として取り組むべき課題であり、国が実施すべき事業である。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>・補助金の交付に際しては、事業主体からの交付申請を受け、事業の実施スケジュールや工事内容を精査した上で交付決定しており、単位あたりコストの削減に努めるとともに、事業目的に即し真に必要な経費について補助を行っている。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>・東日本大震災からの復旧を促進するために実効性の高い手段である。</p>
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>地方整備局等においては、予算の執行状況を定期的に調査し、本省においては地方整備局等からの報告を以て事業の進捗状況を把握している。 平成23年度予算額については、全額平成24年度に繰り越している状況であり、現在は平成24年度内の事業完了に向けた取組を実施中である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	<p>事業目的の達成状況から、改めて予算措置を講ずる必要性はないと認められるため廃止事業とする。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	<p>平成23年度限りの予算</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者について
記載する。費目と使途の双方
で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					